

第51号
2020年3月31日

かざぐるま

甲府市子どもクラブ指導者連絡協議会

事務局：子ども未来部 子ども未来総室 子ども支援課 青少年係内
〒400-8585 甲府市丸の内一丁目18番1号
TEL(055)237-5679 FAX(055)221-3012



甲府市子どもクラブキャンプ研修

令和元年8月24・25日(創作の森おびな)

令和元年の活動を顧みる

甲府市子どもクラブ指導者連絡協議会会長 山田 弘之



一昨年の定期総会において池川睦平会長様よりバトンを引き継ぎ、大勢の皆様方、市子連役員のご指導ご協力により、早くも

一期二年が経過しようとしています。

そこで、今年度一年を顧みたいと思います。

今年度は、五月から元号が、平成から令和に変わり特別な年となりました。

(一) 四月七日 信玄公祭り子ども武者行列に参加。今回は、桜の開花が遅れたことで、満開となった舞鶴城公園から二百五十名が勢揃いして中心街をパレードしました。



(二) 六月二日 甲府市総合市民会館において、市主任指導者・市子連指導者研修を講師に甲府少年鑑別所主席専門官の外川江美様をお招きし、『昨今の青少年を取り巻く環境』と題し、ご講演をいただきました。その後、市子連安全部長による危険予知トレーニング講習(事故やけ

がを未然に防ぐ安全対策)と指導部による風車工作指導等を行いました。

(三) 七月七日 球技大会審判講習会の開催。午前に、旧穴切小学校校庭において、主にキックボール審判員の資質と技術の向上を目指し、多くの皆様に参加いただきました。

受講された指導者の皆様におかれましては、地域に持ち帰って多くの行事に参加するなかで子どもたちへ積極的に教えていただきました。午後は会場を市役所に移動して八月開催のリーダーキャンプ事前研修を開催しました。

(四) 八月三日 中央球技大会の開催。昨午が猛暑で中止になった影響もあつてか、男子ソフトボール七チーム、女子キックボール七チームと少ない参加チームとなりました。

大会は、樋口甲府市長様を始め多くのご来賓をお招きして開催し、熱中症やけがもなく無事に閉会することができました。

(五) 八月二十四、二十五日 『創作の森おびな』キャンプ場においてキャンプ研修を実施。子どもリーダー三十八名が参加してキャンプをおとし、異年齢同士の交流と絆を学びました。

(六) 十月二十六日



甲府大好きまつり・子ども御輿への参加。各地区の子ども御輿十基と九十名が参加しました。

このように、次代を担う異年齢の子どもたち様々な活動へ積極的に参加していただき、子どもたちには、これらの活動をおして子ども同士が思いやりの心を持ち、お互いを認め合い励まし合う中で、善悪の判断力や協調性を学び社会への適応能力が身に付くよう、微力ではありますが役員一同がんばってまいりました。

その他、関係団体への主な協力は、次のとおりです。

(一) 五月五日 愛宕山子どもの国フェスティバルで風車・割箸鉄砲・パタパタ工作の指導を行いました。多くの役員の協力のもと、市民をはじめ県内外からの子どもたちとも交流を深めました。

(二) 七月五日 総合市民会館での甲府市ボランティア団体連絡協議会が主催する行事のボランティア交流フェスタに工作コーナーを開設。高齢者や障がい児者と子どもたちの交流をしました。

(三) 七月十三、十五日 山梨県子連行事で東京県人会の子どもやお孫さんと山梨の子どもたちとの交流イベントでもある八ヶ岳ランドカーニバルに市子連として協力いたしました。

(四) 八月十六、十八日 関プロジェクトリーダー大会が今年度は山梨開催という事もあり関東十県から指導者と子どもたちが八十人集まった大会に市子連として協力いたしました。

(五) 九月二十八日 小瀬スポーツ公園にて、いきいき山梨ねんりんピック工作コーナーを開設し、多くの県民と交流いたしました。

(六) 十一月十六、十七日 小瀬スポーツ公園で開催のやまなし市民活動交流フェスタに甲ボ協構成団体として、甘酒販売とボランティア団体の紹介などで参加協力し、多くの来場者と交流を図りました。

その他、十月と十二月の『赤い羽根共同募金』の協力をいたしました。

以上のとおり、たくさんの方々に多くの方のご支援とご協力をいただき、成果を上げて一年の活動を終えることができました。心から厚く感謝申し上げます。

地区子どもクラブ報告

中道北地区子どもクラブ活動報告

下曽根東地区子どもクラブ指導者連絡協議会会長 田中幸雄

中道北地区では合計十の地区に分かれ、各子どもクラブにて活動を行っております。

各地区、幼児・小学生・中学生、そして大人たちを交えての交流の場を作り、地域内での活動を進めています。

各地区の活動内容については、

「白井地区」

七月に夏のレクリエーションとして芦川にてバーベキューを楽しみました。また、環境美化活動として公民館の清掃や、夏休みの勉強会、白井表門神社例大祭りの子ども御輿、冬にはクリスマス会といった活動を楽しみました。

「文珠地区」

四月の子ども祭りにて御輿を担いで地区を歩き、奉納太鼓の披露と各種屋台露店でお祭りを楽しみました。七月のサマーレクでは富士急ハイランドで一日を楽しみました。十一月、美化活動と三年生を送る会にて、地域内のみ拾いとカーブミラーの清掃を行った後、三年生を送る会を行いました。十二月、地区に生け花の先生がいる繋がりで、生け花教室を行いました。

「宮下地区」

四月に歓迎会を行い、七月、夏休みの過ごし方について保護者での打ち合わせ。八月には納涼会にてボウリング大会及び食事を楽しみました。十月には地区のお祭りに子ども御輿を担いで参加しました。十二月、地域のごみ拾いを行った後、公民館にてクリスマス会を楽しみました。

「浜地区」

夏に右左口の里にてバーベキューとマスのつかみ取りを楽しみました。

「下地区」

夏季研修として右左口の里でバーベキューと釣りを楽しみました。十月には地区のお伊勢堂のお祭りに宮下地区と合同で子ども御輿を担いで参加しました。冬にはクリスマス会にてプレゼント交換やビンゴゲームを楽しみました。また三月には歓迎会を行います。

「中村地区」

四月に歓迎会を行い、十一月、レクリエーションとして県立博物館見学と丹坂農園グループハウスにてバーベキューを楽しみました。十二月には愛宕神社の清掃とクリスマス会を開催しビンゴゲームやケーキ作りを楽しみました。

した。

「下曽根北地区」

七月に野外活動としてよみうりランドにて一日を楽しみました。二月には新年会にてボウリングを行います。

「下曽根西地区」

六月にちびっこ広場の清掃活動、七月には野外活動として円明寺の住職さんにお話を聞かせていただいたり、皆でお経をあげたりし、その後ちびっこ広場にて水遊びやバーベキューを楽しみました。また、三月には進級進学を祝う会を行います。

「下曽根中地区」

五月に公民館の花植え、七月には夏季活動としてアイスアリーナにてスケート教室を行いました。十一月、地区のお祭りに参加、十二月には冬季活動として忍野の水族館を見学し楽しみました。また、三月には送別会と歓迎会を行います。

「下曽根東地区」

七月にレクリエーションとして四尾連湖にてバーベキューを楽しみました。十二月には地区の廃品回収を行った後、ボウリング大会を楽しみました。また、七月と十二月には公民館の花壇の花植えを行いました。三月には歓迎会としてボウリングと食事をを行います。

中道北地区全体では、十月の文化祭にて中道南地区と合同で焼きそばと焼き鳥の販売を行っております。

各地区様々な行事を行っておりますが、共通課題としては、少子化のあおりを受け地区の子どもが減少している中、地域内のコミュニケーションを強めていけるよう活動を行っているということです。

【白井地区 表門神社例大祭り】



【下曽根東地区 花壇の花植え】





● ソフトボールの部 優勝 ●

千塚子どもクラブ
(千塚地区)



● キックボールの部 優勝 ●

朝気合同子どもクラブ
(東地区)

第57回甲府市子どもクラブ中央球技大会結果

- 大会日程 令和元年8月3日(土)
- 会 場 青葉スポーツ広場・市立南中学校グラウンド

試合結果は次のとおり。

○市内29地区の中から9地区よりソフトボールの部に7チーム、キックボールの部に7チームが参加しました。

順位	ソフトボールの部	キックボールの部
優勝 (市長賞 青少年育成甲府市民会議会長賞 山梨日日新聞社・山梨放送社長賞)	千塚子どもクラブ (千塚地区)	朝気合同子どもクラブ (東地区)
準優勝 (市議会議長賞)	穴切子どもクラブ (穴切地区)	上阿原、蓬沢連合子どもクラブ (玉諸地区)
三位 (教育長賞)	大里子どもクラブ (大里地区)	窪中島自治会子どもクラブ (大甲地区)
三位 (教育長賞)	下飯田、池田3丁目子どもクラブ (池田地区)	甲運子どもクラブ (甲運地区)

入賞おめでとうございます。入賞できなかったチームの皆さんも健闘しました。

「お友達たくさんキャンプ」

玉諸地区 小学校三年 望月 希



一ぱく二日のキャンプで一番うれしかったことは、友達をたくさん作ったことです。お友達ができると自由時間にみんなでたくさん遊べてうれしかったです。

わたしは、おりのりの中で一番カレー作りが楽しかったです。たまに、お家でもカレー作りをしているからです。また、朝のホットドックもチーズ入りでおいしかったです。いつもの

ホットドックには、チーズを入れたことはなかったの、はじめて食べるチーズ入りはどうかと思っただけれど、とてもおいしかったです。

わたしは、お母さんに「何が一番楽しかった。」と聞かれたけれど、どれもぜんぶ楽しくて

「ぜんぶ楽しかった。」
ときました。その中でも遊ぶことで一番楽しかったことは、スイカわりです。スイカにはあてられなかったけど楽しかったです。二十四日の夜はスイカがにがでできらいたったので食べられなかったけれど、二十五日に自分たちでわったスイカは、一口食べたらすごくおいしくて、二、三回も食べちゃいました。そのほかには、夜中にみんなでおさん歩にいきました。新しくできた友達とたくさんおしゃべりできて楽しかったです。また、流しそうめんでは、くだものやゼリーも流れてきて、おいしかったです。一番ゼリー流しがむずかしかったです。そうめんもとれるか心配していたけれど、たくさんとれてよかったです。

楽しい二日間でも、楽しかったです。また、来年も行きたいと思いました。



「キャンプに行つて」

玉諸地区 小学校三年 石原 大和

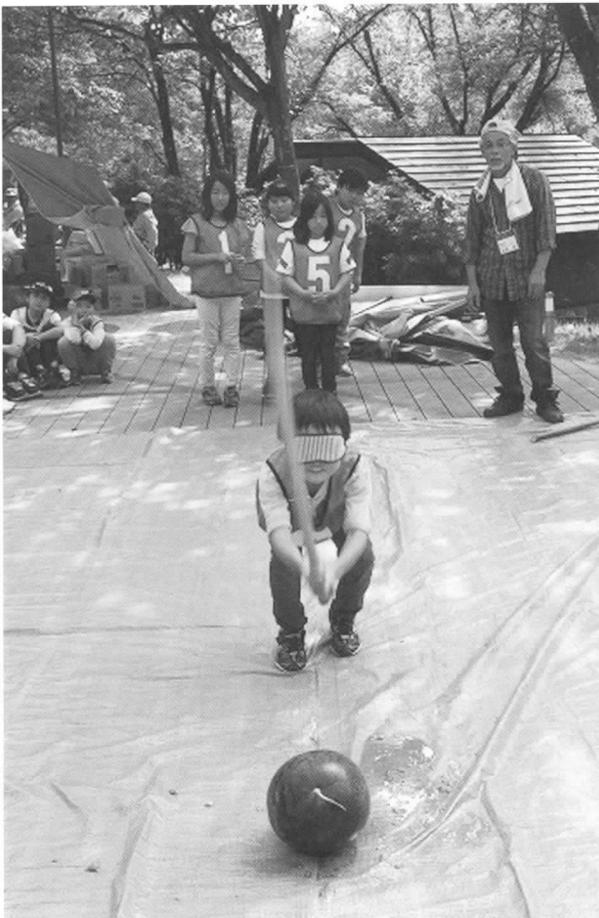


ぼくは、キャンプに来てどきどきしたけど、友だちがいたのでしんぱいにはなりません。さいしょにした自こしようかいゲームは、はずかしかったけどおもしろかったです。友だちと遊んで楽しかったです。そのあと写真さつえいで、すごくあついしまぶしいからはやくしてよと思えました。でもそのあと友だちと昼ごはんを食べて、新しい友だちもできました。よかったです。

そして、テントの立てかたを見てテントを立てようとしてしましたが、ぜんぜんぼくにやらせてくれなかったの、ちよつといやな気持ちになりましたが、テントを立てて休む場所ができてよかったです、そのあとにやった草木ぞめも楽しかったです。また、カレー作りのときににんじんなどを切りたかったのにリーダーに「小さい子はきけんだから」と言われてできませんでしたが、ほかのはんの三年生はやっていて、「なんだよ、ほかのはんの三年生はやっているのに、やらせてくれないのか」と思いました。そのあとカレーを四はい食べてかたづけしてテント

にもどり休みました。そのあとNo.1と言われている人や年上の人とおにごっこをやつてキャンドルファイヤーをやつてナイトハイクをやりたかったけどできなくなりました。それで、もうふをとりに行つてねようとなりましたが、みんながうるさくてねむれませんでした。それでやつとすかになったときに女子たちが話しかけてきて、またねむれなくてやつとねむれたけど、つぎの朝めざめがすぐわるかったです。

二日目は朝ごはんを食べてからテントのかたづけをして、流しそうめんをおなかいっぱい食べて、スイカわりでスイカにひびがはいつてうれしかったです。



第五十三回全国子ども会育成中央会議・研究大会に参加して

甲府市子どもクラブ指導者連絡協議会 総務部長 滝口 光 視

元号が令和に改まってから初の全国子ども会育成中央会議・研究大会が、令和元年十月四日から六日までの三日間、岡山県倉敷市の倉敷市芸文館を会場に、日本全国から六百九十名余りの子ども会指導者・育成者が参加して、「未来の子どもたちのための子ども会活動」をテーマに開催されました。山梨県からは私を含



め二名の受賞者と十名の指導者が参加しました。

開会式では、全国子ども会連合会の河本会長が体調を崩したため代理で野瀬副会長が挨拶し、AIの進化や車の自動運転機能開発など人口減少に対応する技術開発が進むなか、子ども会も時代の変化に即した対応が求められていることへの認識を喚起する挨拶でした。続いて文部科学大臣、岡山県知事、倉敷市長等来賓の方々からは、子ども会の存在意義と重要さを十分に認めつつも少子高齢化による会員の子どもたちの減少と子ども会指導者の担い手不足を危惧し、今大会の参加者の英知の結集による子ども会の発展を祈念するとの祝辞が寄せられました。その後、表彰式に移り、個人表彰として指導者・育成者六十九名、団体表彰として子ども会十三団体、シニアリーダー組織三団体、ジュニアリーダー組織六団体、指導者・育成者組織六団体、奨励賞として育成組織八団体への表彰状がそれぞれ授与されました。山梨県関係では私を含め二名が育成者としての表彰の榮譽に浴しました。

表彰式終了後には今回の研究大会の基調提言として、岡山県で青少年健全育成アドバイザーとして活躍中の森美智子氏から「今、家庭・家族に必要なもの——家庭に笑顔がありますか——」と題して記念講演がありました。子どもの育成の根本は家庭であり、その家庭の在り方を今こそ見直すべきであり、家庭を再構

築するのに寄り添う指導者・育成者のあるべき姿についての示唆に富んだ話をしていただきました。その後、受賞者の記念撮影をした後、会場を倉敷アイビースクエアに移して情報交換会が催され、全国からの参加者との交流が二時間にわたり和やかな雰囲気の中で行われ、一日目が終了しました。

二日目は、午前九時から倉敷市芸文館で一〇の分科会に分かれて、今までの子ども会活動の実践と今後在り方、子ども会とまちづくりの実践についてなど午前中いっぱい熱心に討議されました。昼食後、マドリッド国際映画祭最優秀監督賞受賞映画「キセキの葉書」の上映があり、その原作者脇谷みどり氏の講演がありました。阪神淡路大震災後の混乱の中、難病の娘と認知症の母に挟まれ押し寄せる逆境の波の中を朗らかに戦い抜いた経験を子育てに愛情豊かに取り組む母親の立場からユーモラスに話をしてくれました。その後、閉会式が執り行われ次回開催の北海道子連に大会旗が引き継がれ閉会しました。

今回の倉敷市での大会に参加させていただき全国各地の様々な取り組みを見聞きして今後の子ども会活動の参考にしていきたいと感じました。最後になりますが、今回推薦していただいた県子連、市子連の関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

「全国子ども会安全共済会に入ろう!」

子どもクラブ活動を安心して行うために、共済に加入することも忘れずに

日頃から、甲府市子どもクラブ安全共済部会にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

「安全・安心」して子どもクラブの行事ができることは大切なことです。しかし、万一事故が発生した場合は、関係者全員が大変心配になります。

このような場合に「全国子ども会安全共済会」は、共済金（お見舞金）を支給出来る共済制度です。子どもクラブ会員の全員加入をお願いいたします。

なお、定期的に安全教育を行い、特に行事の事前には全員でKYT（危険予知トレーニング）を行ない事故の防止に努めてください。

1 加入資格

単位子どもクラブ会員、青少年ジュニアリーダー、指導者、育成者

※0歳児より加入できますが、3歳児（年少）以下の幼児の場合は保護者も同時に加入してください。

2 会費

一人あたり150円（個人負担120円 + 市子連補助30円）

3 加入期間

加入年度の4月1日0時～翌年3月31日24時まで。

※5月30日までに手続き終了の場合。

注意) 年度途中での加入の場合は、手続き終了時より翌年3月31日24時までです。

4 共済金（見舞金）

● 給付条件 ●

子どもクラブ活動中に被った事故及び会員以外にけが等をさせた場合

● 共済金額 ●

公的医療保険制度を

利用した場合 : 医療費総額の30% (支払限度額50万円)

後遺障害を被った場合 : 7万~600万円

死亡した場合 : 600万円

詳しい内容は「全国子ども会安全共済会のご案内」パンフレットをご覧ください。

万一、事故が発生した場合は、速やかに安全共済部会事務局へ連絡してください。

安全共済部会事務局長 小野 正文 TEL・FAX 055-232-0303